

中山 竜一
法学研究科・教授

【研究】

- ・論文「法学教育と法哲学、そして法的・政治的・政策的思考」(田中成明・足立幸男編『政治における法と政策——公共政策学と法哲学の対話に向けて』勁草書房、2023年、第12章、207-221頁、所収)を執筆、公表した。
- ・論文「法実証主義の社会的機能をめぐって——総括コメント」(日本法哲学会編『法哲学年報2022 現代法実証主義』有斐閣、2023年、94-102頁)を執筆、公表した。
- ・中山竜一・浅野有紀・松島裕一・近藤圭介著、王昭武訳『法思想史』(北京大学出版社、2023年)が刊行された〔有斐閣アルマシリーズ『法思想史』の中国語訳〕。
- ・日本法哲学会創設75周年記念大会「法哲学の現在」の全体企画、グループ6「法哲学における歴史の問題」において提題報告「企画趣旨説明」を行った(2023年11月5日、同志社大学今出川キャンパス)。
- ・日本学術会議 公開シンポジウム『リスク社会における法の役割』にて、冒頭報告「問題の所在」を行った(令和5年9月19日、オンライン開催)。
- ・日本学術会議 公開シンポジウム『法曹・法学研究における学位と司法試験——いわゆる〈3+2〉制度導入を契機として』にて、コメント報告「法理学の立場から」を行った(令和5年7月22日、オンライン開催)。

【教育】

- ・法学部では「法思想史」「法学の基礎」(オムニバス科目:うち6回を担当)「演習1・2」を、大学院法学研究科では「法思想史」「法思想史特殊講義」を、法科大学院では「法理学」「法理論」(オムニバス科目:うち5回を担当)を、それぞれ担当した。
- (1) 学部「法学の基礎」については、CLEで講義内容項目のレジュメを事前配付した上で対面講義、(2) 学部「法理学」は対面での授業、(3) 大学院法学研究科の「法思想史」「法思想史特殊講義」では、基本書の精読と参加者による外国語論文の報告に基づく討議、法科大学院「法理学」「法理論」では、あらかじめCLEで指示した Reading Assignment の読み込みを前提とした対話形式の対面授業といったように、教育目的に合わせて授業の形式と内容を工夫した。

【管理運営】

- 〔全学〕入試委員会委員、ファカルティ・ディベロップメント委員会委員、大阪大学出版会出版委員会委員、社会技術共創研究センター兼任教員、歯学部附属病院アドバイザー委員会委員を担当した。
- 〔部内委員〕ファカルティ・ディベロップメント委員会委員を担当した。

【社会貢献】

- ・日本法哲学会・理事長(2021年11月20日より)
- ・日本学術会議連携会員